



拓北・あいの里地区社協ニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 95

令和 7年 3月 19日

**3月5日(水)に社協常任理事会が行われました。
各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。**



寒の戻りがありましたが、例年に比べて今年は少雪で終わりそうです。気温の上昇にともない、雪融けが進んでいます。足元にご注意を。

■ ボランティア企画部より ■

・生活支援ボランティアの活動がより良い方向に展開しつつあります

- ・部屋の掃除の依頼に対して、2月下旬に実施しました。ボランティアの方々が依頼者の話し相手になるなど、良好なコミュニケーションも生まれています。3月上旬に2度目の掃除を行いました。
- ・2月下旬にスポット除雪の依頼が2件。同じ依頼者で、これで4度目になります。
- ・2階の家具の解体及び1階への移動依頼があり、3月初めに実施しました。

■ 総務部より ■

・令和7年度定期総会が5月24日(土)に開催されます

令和7年度定期総会開催のお知らせ

- ・日時：5月24日(土) 14時から
- ・場所：地区センター1階多目的ホール
- ・内容：令和6年度の報告事項—事業報告、決算報告、監査報告、並びに議案事項—規約改正案、令和7年度の事業計画案、予算案、役員選出案、について

■ ふれあい交流部より ■

- ・3月13日(木)の「ひまわりクラブ」は地区センター和室に3組6名の親子さんが参加され、自由遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、歌と踊りを楽しまれました。



3組・6名の親子さんたちが参加した、3月13日のひまわりクラブ



ひまわりクラブで「むすんでひらいて」を歌いながら踊っている様子



4月1日開設の北区第2地域包括支援センター拓北・あいの里支所が入る、あいの里三育ビル



地区センター23名、オンライン3名、合計26名が参加した、2月18日の地域ケア部の例会

千通信

・4月1日から北区第2地域包括支援センター拓北・あいの里支所が開設されます！

場所はあいの里2条5丁目1-45 あいの里三育ビル3階(1階にアイエム薬局があります)。地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談窓口、介護予防ケアマネジメント、住みよい地域づくり、に取り組まれています。また、介護保険、認知症、フレイル、最近の特殊詐欺の動向などについて、講話の依頼も受け付けられています。このような福祉に関する札幌市行政の支援施設がごく身近にできることは、とてもありがたいことです。

[裏につづく ➡]

■ 地域ケア部より ■

2月例会は18日(火)18:30~20:00、株式会社LIO(手稲区富丘4条4丁目3-18)代表取締役・笹木雄太(ささき・ゆうた)さんをゲストに「高齢者住宅の理想と現実」をテーマに、地区センター2階集会室にて、話題提供をいただき、意見交換を行いました。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行われ、参加者は地区センター23名、オンライン3名、合計26名。

話題は、(1)高齢者住宅の種類、(2)高齢者住宅の検討ポイント、(3)自分(家族)にマッチする高齢者住宅を考える、の3点。

(1)高齢者住宅の種類：高齢者向け住まいには、おおまかに、①介護付きホーム(介護付有料老人ホーム)、②住宅型有料老人ホーム、③サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)、④認知症対応型グループホーム、⑤ケアハウス(軽費老人ホーム)、⑥特別養護老人ホーム(特養)などの種類があり、それぞれ介護サービスの受け方や、主な対象者、予算などが異なります。どんな施設なのか、まずは特徴を確認しましょう。今回は①から③の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を中心に紹介されました。①介護付きホーム(介護付有料老人ホーム)の特徴は、介護保険事業所として指定を受け、スタッフによる包括的な介護サービスが提供される住まい、であること。②住宅型有料老人ホームの特徴は、生活支援等のサービスが付いた高齢者向け住まい、であること。③サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)の特徴は、高齢者向けのバリアフリー対応の住まいで、状況把握・生活相談サービスが受けられる、こと。②と③については、介護サービスは別契約となります。

(2)高齢者住宅の検討ポイント：①予算—家賃や管理費などのほかに、食費、介護保険自己負担額、さらに医療費や日用品の費用などがかかります。広告・パンフレットの価格に何が含まれ、それ以外にどのような費用がかかるのか、十分確認しましょう。②立地—一般的には、ご本人が住み慣れた地域、ご家族が気軽に訪問できるところで選ぶのがよいでしょう。予算の都合で離れた地域の住まいが候補に挙がる可能性もありますが、ご本人らしい暮らしのために慎重に検討しましょう。③サービス—おおまかに、1)入居の条件を満たしているか?、2)望む暮らしが実現できるか?、3)いつまで暮らせるか?、の3段階に分けて確認するといいでしょう。

(3)自分(家族)にマッチする高齢者住宅を考える：本人状況確認シート—介護度(要支援、要介護)、認知症の有無、負担割合、病歴、医療面での要望、介護サービスの利用状況、相談内容—及び、高齢者住宅選びのチェックシート—予算(月額施設費用)、立地(希望地域、周辺環境)、医療との連携(看護師)、雰囲気(規模、施設の雰囲気)、暮らし—に記入された参加者の中から2名選び、どの高齢者住宅がふさわしいか、ゲストの笹木さんがアドバイスされました。

最後に、ご自身が健康なうちに、いろんな高齢者住宅を実際に見学して、将来もし介護や看護が必要になった時、自分はどの住宅で暮らしたいのかを家族とよく話し合い、判断しておくことが重要である、とのゲストの笹木さんの指摘は、とても印象深いものでありました。

なお、3月例会は18日(火)18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、本会地域ケア部副会長・拓北あいの里ケア施設町内会事務局長・長谷川聡(はせがわ・さとし)をゲストに「福まちYouTube案内~その1.認知症・心身障がい」をテーマに、話題提供をいただき、意見交換を行いました。その内容については次号の96号で報告いたします。

◇ 今後の予定 ◇

4月例会は15日(火)18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、あいの里アットホームクリニック(南あいの里5丁目6番10号 グランディール303号)副院長・伊藤朔(いとう・はじめ)さんをゲストに「訪問診療とはなんだろう」をテーマに、話題提供をいただき、意見交換を行う予定です。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行います。「ケア施設町内会会員メーリングリスト」登録者にはZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール hasepy55@gmail.com でお問合せ下さい。